

事業所名

どんぐりん

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

10 日

法人（事業所）理念	発達に遅れのあるお子さんを対象として、一人ひとりのお子さんが主役となって楽しく活動に参加することを目指します。		
支援方針	お子さんが安心して楽しめる環境を作ります。寄り添う支援と客観的な視点を持って、個々の発達の充実を目指し、それぞれの課題に職員がチームとなって療育を行います。運動活動、お買い物学習、社会見学や収穫体験等の機会を提供し、多様な社会生活に順応するための練習を遊びを通して体験していきます。		
営業時間	月～金	13 時	0 分から 17 時 0 分まで
	土・長期休み	10 時	0 分から 15 時 0 分まで
		送迎実施の有無	あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	来所時の検温・手洗い・うがいを実施し、ひとりひとりの健康状態を把握していきます。自分の体調について意識付けを行い、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活が出来るように支援を行います。集団活動の中で、散歩・外遊びなどの基礎運動を取り入れ、体力の維持および運動能力の向上を支援します。活動の中で、整理整頓（片付け）の習慣をつけるための時間を確保します。さまざまな遊びを通して学習できるような環境を整えます。また、障害の特性に配慮し、タイミングや状況を本人に分かりやすく構造化し、見通しを持って取り組める工夫をしていきます。	
	運動・感覚	公園遊び・散歩・ボウリング・運動施設での運動療育・収穫体験をおこない、筋力の維持・強化を図ります。粘土・バスボム・スライムなどの活動を通し、物質の変化と感覚の認知形成を行います。日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善を図ります。保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう、遊びなどを通して支援します。	
	認知・行動	当日の日付・曜日・スケジュールを視覚でわかるように掲示し、概念の習得を図ります。視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促します。タイムタイマー・砂時計を用いて、活動の切りかえを視覚と聴覚にて促します。活動内容（環境）から情報を取得しやすいよう、絵カードやポスターを用いて見える化し、認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。数量、形の大きさ、重さ、色の違いなどの習得を折り紙や積み木などを用いて支援します。認知の特性を踏まえ、情報処理や認知の偏りに対処し、個々の特性に合った支援を行います。こだわりや偏食などにも対応します。	
	言語 コミュニケーション	簡単な挨拶や会話など、円滑なコミュニケーションを行う事ができるよう支援します。具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付け、体系的な言語の習得や自発的な発声を促進します。話し言葉や文字・記号などを用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする能力を支援します。個々に合わせた状況での相互作用を通じて、共同注意などのコミュニケーション能力の向上を支援します。指差しや身振り、サインなどを活用して、環境の理解や意思の伝達を支援します。障害の特性に合わせた読み書き能力の向上を支援します。読み聞かせ、カルタなどの教材を用いて読みの向上を目指す支援を行います。文字や記号、絵カードなどのコミュニケーション手段を適切に活用し、環境の理解や意思の伝達を支援します。	
	人間関係 社会性	人遊びや協同遊びの活動を通し、自己理解・他者理解を養います。人との関係を築き、信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。遊びを通じて模倣行動を促し、社会性や対人関係の発達を支援します。感覚運動や象徴遊びを通じて社会性の発達を支援します。一人遊びから協同遊びへの移行を促し、社会性の発達を支援します。自己の行動や感情を理解し、コントロールできるよう支援します。地域施設などへの社会見学へ行き、ルールやマナーに関する知識を養います。	
家族支援	お子さんの発達状況を相互に理解できるよう連絡帳・オンライン・電話により情報共有を実施。困った時に相談できる体制を整えます。お子様を支える保護者のレスパイトにも対応。	移行支援	必要に応じて学校の先生とお子さんの様子や支援方針について、情報共有をしたり、保護者等との相談援助を実施。
地域支援・地域連携	お子さんの通っている他の発達支援事業所などと情報共有するなどして連携を図ります。	職員の質の向上	年に3回以上の内部研修を行い、障害への理解を深めたり、ミーティングで支援方法を共有しています。
主な行事等	外出活動（土・長期休み）、夏祭り（8月）、ハロウィン（10月）、クリスマス会（12月）、ミニ運動会（春・秋）、避難訓練（施設内及び防災センター2回以上）、お誕生日会（毎月）		